

令和2年度 学童保育所入所児童の募集について

学童保育所名	住 所	電話番号	対 象
泉学童保育所	羽黒町荒川字花沢4番地	62-2149	小学1年生～6年生
広瀬学童保育所	羽黒町後田字下田元9番地	62-2102	

- 対象 本市に住民登録されており羽黒地域の小学校へ通学している児童で、保護者などが就労等の理由によって退校時に家庭での保育が困難である児童
- 保育時間 平日：退校時～午後7時
土曜日などの1日保育時：午前7時30分～午後7時
※日曜・祝日・年末年始等は休所します。
- 保育料 月額 9,000円
- 受付期間 令和元年12月2日(月)～20日(金)
(貴船保育園) 午前7時30分～午後7時
(各学童保育所) 午後2時～午後7時
※時間外の受付についてはご相談ください。
※年度途中の入所希望も、受付期間内にお申し込みください。
- 配布・受付場所 貴船保育園・各学童保育所
- 提出書類 学童保育利用申込書、就労証明書、口座振替依頼書、納付誓約書
※申込書等は、貴船保育園または各学童保育所でお渡します。
- 入所通知配布 令和2年2月初旬に郵送で通知予定です。
- 問合せ 貴船保育園(学童保育担当) ☎62-2155



子育て支援情報掲示板

～子育てに関するさまざまな情報をお伝えします～

12月のお楽しみ

- ★ 5日(木) 合同クリスマス会
- ・ 26日(木) 園開放日「もちつき会」
昔ながらの風習に親しもう



毎月、手型・足型アートの日もあるよ!

1月のお楽しみ

- ・ 15日(水) 園開放日「正月遊び」
- ★ 30日(木) フォトフレーム作り



○日程やお楽しみの詳細は支援センターの『にこにこだより』をご覧ください。
鶴岡市子育て支援センターおたよりのホームページからもご覧いただけます。

★印の事業は申し込みが必要となります。

◎申込み・問合せ 羽黒子育て支援センター(貴船保育園内) ☎62-2154



12/21
オープン

羽黒山スキー場のキャッチコピー大募集!!

来年度の羽黒山バイパス開通に伴い、羽黒山スキー場へのアクセスが格段にスムーズになることから、この機会に羽黒山スキー場の利便性をアピールする親しみやすいキャッチコピーを募集します。

- ▶ **募集資格** 羽黒山スキー場利用者の皆さん
- ▶ **募集期間** 令和元年12月21日～令和2年3月1日
- ▶ **入賞賞品** 休暇村庄内羽黒ペア宿泊券、羽黒山スキー場優待券 等
- ▶ **応募内容** ①キャッチコピー ②キャッチコピーの説明 ③応募者の住所、氏名（ふりがな）、年齢、性別、電話番号、職業（学校名、学年）
- ▶ **応募方法** 上記内容を応募用紙に記入のうえ、下記どちらかへ投稿
ア. スキー場ロッジ・休暇村庄内羽黒ロビーの応募箱
イ. 電子メール（休暇村庄内羽黒：haguro@qkamura.or.jp）

◎問 合 せ 休暇村庄内羽黒 ☎62-4270 または 羽黒庁舎産業建設課 ☎26-8776



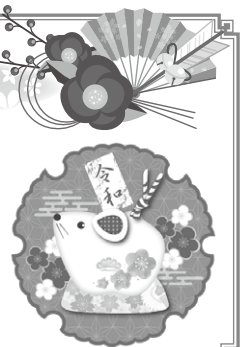
令和2年 羽黒地域新年祝賀会

令和2年鶴岡市羽黒地域の新年祝賀会を下記日程で行います。一般参加も歓迎いたしますので、ぜひご参加ください。

なお、参加を希望される方は12月9日（月）まで羽黒庁舎総務企画課にお申し込みください。

◎日 時 令和2年1月6日（月） 午後3時30分～ ◎場 所 羽黒コミュニティセンター

◎会 費 1,500円 ◎問 合 せ 羽黒庁舎総務企画課☎26-8771



羽黒地域の子供たちに注目!

9.28 羽黒山全国俳句大会子供の部



今年は俳人・夏井いつき先生と作家・夢枕獏先生を選者に招いて開催されました。

全国から俳句が集まる中、羽黒地域の小中学生が詠んだ俳句もたくさん入選し、表彰式では憧れの両先生と握手を交わす嬉しそうな様子が見られました。

10.31 羽黒高校地域連携事業

高校3年間の授業を通して、羽黒地域をはじめ鶴岡市について学んだ生徒たち。学びを活かし「鶴岡のために自分たちがができること」をテーマに、アイデアを出し合い考えた企画はどれも独創的で素晴らしいものばかり。

この日は、地域の方を講師に迎えて考案した企画のプレゼンテーションを行い、アドバイスをもらっていました。



11.9 鶴岡市青少年育成市民会議羽黒地区会議40周年記念講演会

羽黒中学校を会場に、パラリンピック競泳選手でメダリストの成田真由美氏を招いた講演会が行われました。

「自分の可能性を求めて」をテーマに、これから生きる前向きな姿勢、目標へ向け努力する大切さや他人への思いやりと感謝の心など、自身の体験を踏まえた力強いメッセージが中学生や参加された皆さんに送られました。

最後に、羽黒中学校全生徒の「翼をください」の合唱により成田氏へ感謝の気持ちを伝え、大変好評のなか、心に残る講演会となりました。



パラリンピックのメダルを触らせていただくなど、貴重な経験となりました。